

令和 7 年 6 月 13 日

令和 7 年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志学園
九州中央リハビリテーション学院
学校関係者評価委員会

学校法人 立志学園 九州中央リハビリテーション学院 学校関係者評価委員会は令和 6 年度自己点検・自己評価報告書に基づき、学校関係者評価委員会を開催いたしました。このことにつきまして下記のとおり報告いたします。

1. 学校関係者評価委員会委員

学外委員（順不同）

- 三宮克彦様 医療法人社団寿量会 熊本機能病院 理学療法科科长
- 田尻陽介様 グループホームつつじのさと 管理者
- 津田恵美様 くまもと県北病院 看護部長
- 吉田一美様 向山地区第 3 町内 自治会長
- 椎屋 允様 九州中央リハビリテーション学院後援会会長（学生保護者代表）
- 古山 仁様 九州中央リハビリテーション学院同窓会会長（卒業生）

2. 学校関係者評価委員会

- 開催日時 令和 7 年 6 月 12 日（火）17：30～18：30
- 開催場所 九州中央リハビリテーション学院 1 号館会議室
- 外部委員 三宮克彦、津田恵美、吉田一美、椎屋允、古山仁
- 学院側 田島徹朗、山崎孝文、福山貴美子、川窪昭子、柿下耕一（事務局）
- 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

1. 教育理念・目標	
① 課題	医療・福祉関連の動向をはじめ、18 才人口減少に伴う業界全体での対応に関する情報が必要
② 今後の改善方策	医・保・福関連団体の動向、ならびに教育・社会保障制度の把握と各業界のニーズについて調査を行う
基準 1 評価、ご意見	
・課題としてのご指摘のように、保健・医療・福祉分野においては、「新しい地域医療構想」を念頭に置いた対応が始まりつつあり、専門職に対する社会のニーズの変化をどうとらえ、目標を定めるか、難しい課題と感じます。 ・学生生活のしおりにどのような人材を育成したいと考えているのか、明確に基本理念、学院の教育目的・指針が示されています。 ・課題としてあげてあるように、18 歳人口の減少に伴い医療業界での人材確保の問題もある。最新の情報収集は必須と考えられます。	
2. 学校運営	
① 課題	2-4-6、2-4-8：各教員の専門分野における研修参加は、学校行事等と重複することが多く参加が少ない。年度初めに大まかな教職員研修計画書の作成を行う。 非常勤講師との定期的な情報交換が行われていない
② 今後の改善方策	業務改善及び研修参加しやすいよう計画的に取り組む 教職員研修計画書の作成

こまめに非常勤講師との情報交換を行う
基準2 評価、ご意見
・学校運営方針の周知について運営会議等で周知されているのではないかと拝察します。課題としては理解状況の確認なのでしょう（2.1.2）。定期的な管理者による教員面接等（2.4.7）で教員のメンタルヘルスへの配慮も含め記載できるものがあるとなお良いと感じます。 ・2-4-8 各教員の研修参加に関しては、計画的に取り組んでいただきたいと思います。 ・情報システムに関しては、デジタル化を進められており、更なる業務の効率化が図られることを望みます
3. 教育活動
①課題 3-2-6 質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか。 ⇒定期的な観察を実施していない。 3-2-8 評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか。 ⇒授業評価アンケートへの学生の参加が少なく、授業改善に役立てることが十分でない。 ②今後の改善方策 複数教員担当科目での綿密な打合せや授業そのものの複数教員参加制、学年を縦断的に参加させ複数教員が入っての学習会等の取り組みは行っている。 今後、専門性の強い科目についても強化月間的な期間を設け、まずは専任教員科目から年1回の定期的観察をしていく。 各科目の授業最終日に授業評価アンケート協力の時間を設けて参加者を増やす。
基準3 評価、ご意見
・3.2.6 について、すでに取り組まれていることと存じますが、授業の質の評価を専門性以外の部分で評価できると良いと感じております。「目標が明確」「理解可能なたとえや具体例」「知的好奇心の刺激」などは専門性以外で評価できないかと感じます。 ・3-2-8 授業評価アンケートへの学生の参加がなせ少ないのか？アンケートのとり方に問題があるのか？確かに、確実にアンケートに答えてもらうためには終了後に記入時間をきちんと取ることが大切だと思われる。もしくはスマートフォン等を用いて回答してもらう方法は今の学生は回答しやすく、集計も早いと思われる。適切な評価をし、その結果を是非授業改善に役立ててほしい。
4. 学習成果・教育成果
①課題 ・常時、全学科国家試験 100% ・IT 関係資格の合格率向上 ②今後の改善方策 ・授業内容の見直し、課外の実施 ・国家試験の傾向分析と対策内容の見直し ・学生個々のメンタル含めた個別、チーム指導の強化
基準4 評価、ご意見
・今後の課題として、情報システム（現デジタルソリューション）学科については、発展が目覚ましい分野であるだけに学習成果・教育成果について、各資格取得だけでない評価の方法が必要ではないと感じます。 ・開校以来 100%の就職率は素晴らしい。国家試験合格率も高水準を維持しており、学習成果、教育成果につながっていると思われます。卒業後の学生の相談にも今後も積極的にかかわってみたいと思います。

5. 学生支援	
① 課題	退学率の低減に向けた取り組みを行う必要がある。
② 今後の改善方策	問題点を把握し分析した結果をもとに、指導体制を構築し対応する。 理由は多岐に渡っているが、積極的に情報収集を行い早期の対応を行う。
基準5 評価、ご意見	
・学生の多様性が高くなっている中、対応に苦慮しながら取り組んでおられることと拝察しております。 ・少子化が進む中、学生歩確保にも今後は苦勞することが予想される。よって当学院を選んで入学された学生は、なるべく最後まで学習を続け夢に向かって突き進んでもらいたい。退学者の低減に向けた取組を望みます。	
6. 教育環境	
① 課題	さらなる図書の実
② 今後の改善方策	書籍の購入更新 各学科に図書購入費用を予算化
基準6 評価、ご意見	
・IT、IoT、生成 AI 等の発展に伴い、教育の在り方、成果のとらえ方、教育環境の多様性など社会全体のパラダイムシフトに対応していく必要があると感じます。 ・学外実習時の実施要綱はきちんと整っており、事前の説明会をしてもらっているため、実習を受け入れる方もとても受け入れやすい体制を整えてもらっている。	
7. 学生の受入れ募集	
① 課題	概ね適切に募集活動は行われているが、18 歳人口の減少は確実なものになっているため、今後さらに選ばれる学院づくりをしていかなければならない 入学予定者への学習面での支援を行っていく必要があると思われる
② 今後の改善方策	いろいろな媒体を使用して学院の魅力、実績などをアピールしていきたい 更にガイダンス等への積極的な参加を行う
基準7 評価、ご意見	
・少子高齢化の中、学生募集に苦慮されている事、受験者数と合格者数から拝察しております。 ・様々な媒体を使用して、学院の魅力はアピールできていると思う。今後も積極的なアピール活動を通して安定的な学生の受入れをお願いしたい。	
8. 教育の内部質保証システム	
① 課題	8-4-1～8-4-6 の設問において 自己点検自己評価を行い、例年同じ様な項目の改善が進んでいないと感じる。全体的に会議の資料、会議の議事録、記録といったものを残していく必要がある。やっているけど記録として残していないケースが多々見受けられる
基準8 評価、ご意見	
・8.2.2 について、意識づけができていないかの評価は大変難しいことと思いますが、比較的簡単にできる一つの方法として、定期的な意識付けを目的とした設問のアンケートとその結果を積み重ねることを提案いたします。既に取り組まれておりましたら、ご放念ください。	

・やっていることが、まだ十分周知徹底できていないという自己評価になっていますが、課題解決に向けて努力をお願いします。
9. 財務
① 課題 全般的に概ね適切に行われている、今後、学生数の減少がどの程度進んでいくかを考察し、年度予算並びに中期計画をたてる必要がある ② 今後の改善方策 学納金収入の減少が見込まれるため、支出に関して広報費や奨学金などの見直しをおこなう。
9. 評価、ご意見
・概ね適切に行われており問題はないと考えます。自己評価にもあるように、今後学生数の減少は避けられない状況にあるため、支出を抑える工夫が必要になってくると考えられます。
10. 社会貢献・地域貢献
① 課題 実習など学校行事と重複することが多く、十分な参加ができないこともある ② 今後の改善方策 可能な限り依頼先に協力できるようにする。 教員は側面的支援を行っていく。
基準 10 評価、ご意見
・ボランティア活動は学院の評価を上げることにもつながるし、学生のモチベーションアップにもつながるので今後も積極的に支援をしてほしい。
11. 国際交流
① 課題 特になし ② 今後の改善方策 留学生対象の規則厳守の徹底化
基準 11 評価、ご意見
・留学生の受入れに関しては、今後需要がますます増えてくると思われる。貴学院の特徴の一つとして大変だと思うが頑張ってほしい
全体に関する評価、ご意見
・この度も貴重な機会を頂戴しありがとうございます。 - 大変僣越な事で、失礼な指摘もあると存じますが、お許しくださいますようお願いいたします。 - 益々の貴校のご発展を祈念申し上げます。 ・全体を通して非常に細やかな配慮があり、努力されている様子が分かりました。今後も頑張ってほしいと思います。